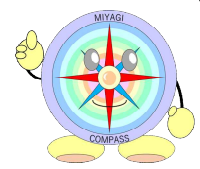


単元（題材）計画を考える

「単元（題材）の目標」と「単元（題材）の個別の目標」を踏まえて、単元（題材）計画を考えます。その際、「**単元構想シート**」（p.2-47）を活用し、考えやすい項目から、単元（題材）を計画していきます。

記入例	学年 ○○ 組学級 教科等： 算数		単元構想シート
単元（題材）名	かぞえめいじんになろう	7	時間扱い
期 日	令和○年○月○日～○月○日	場 所	教室
目 標	ものの集まりや数詞と対応した数字の意味を理解できる。〔知識及び技能〕 数詞と数字、ものとの関係に着目し、数の数え方や数の大きさの比べ方、表し方について考え、それらを学習や生活で興味を持って生かすことができる。〔思考力、判断力、表現力等〕 ものの集まりや数詞に関心を持ち、数の数え方や数の大きさの比べ方、表し方のよさを感じながら、興味を持って学ぼうとする。〔学びに向かう力、人間性等〕		
メインの学習活動	学級での当番活動である牛乳配りを想定した課題で、10まで数えられるようになる。		
	おおまかな活動の流れ	主な手立て	扱う教科の内容
	1次 既習事項の振り返り（3まで）（1時間） ・牛乳を数える（5まで） 2次 牛乳とストローを数える（5まで）（3時間） ・牛乳だけを数える ・ストローだけを数える ・牛乳とストローを組にして置く 3次 牛乳とストローを数える（10まで）（2時間） ・牛乳だけを数える ・ストローだけを数える ・牛乳とストローを組にして置く 4次 まとめと振り返り（1時間） ・実際の給食場面を想定し、牛乳とストローを数えて置く	○導入の工夫 ・既習事項の確認 ・ICTを活用して、学習課題を拡大提示 ○意欲付け ・実際の生活場面に即した課題 ・具体物を使用 ・「数え名人カード」にシールを貼って賞賛 ○振り返りの工夫 ・活動の様子を振り返る映像の活用	算数 A 数と計算 一人一人の実態に合わせて、どんな手立てが必要？
	目標を達成するには、どんな学習活動を設定する？そして、どんな教材を準備する？		

単元計画を考える際は、「**授業改善の視点**」（**主体的・対話的で深い学び**）（p.2-32～p.2-34）にある「**授業改善に向けた教師の手立て（例）**」を活用して主な手立てを考えてみてください。



第1章

第2章（教科別の指導）

第2章（各教科等を合わせた指導）

第3章